



女子サッカー部報告

編集
野村美巴、田中未夢(2年生)毎日ブログ更新!最新情報はこちらで!!
<http://toin.sakura.ne.jp/>

Construction of New TOIN PRIDE

2017年1月11日 NO.89

2016-2017 シーズンチームスローガン: 新たなTOIN PRIDEの構築

平成 28 年度関西高校サッカー選手権大会予選

7年連続 8 回目全国大会出場

日ノ本学園が優勝 大阪桐蔭は 3 位で終える

平成 28 年度 第 25 回 関西高等学校女子サッカー選手権大会 兼 第 25 回 全日本高校女子サッカー選手権大会が 11 月 13 日から 11 月 20 日まで J グリーン堺など 3 府県で開催された。

大阪桐蔭は 1 回戦で和歌山北高校に 20-0 の大差で快勝。決勝進出目前の準決勝の相手は、前回関西大会を制覇した強豪校の日ノ本学園。試合内容は良い展開だったものの、勝利が目の前に見えたところで、最後の一步が足りず後半アディショナルタイムに同点ゴールを許し、PK 戦にもつれた。PK は日ノ本学園が 5 人全員しっかり決め、それに対し大阪桐蔭は一人がはずし 3-5 で敗れ念願の決勝進出には至らなかった。

日ノ本戦の悔しさを胸に 11 月 20 日の 3 位決定戦はチーム一丸となって挑んだ。京都精華を破り自力で全国を決めた神戸弘陵高校には 4-0 で勝利し、関西第 3 位代表として 7 年連続選手権大会の出場が決まった。

◇1回戦(11月13日、J-GREEN 堺・S16) 35 分ハーフ(カッコ内は前半のスコア)

大阪桐蔭 20-0(9-0) 和歌山北高校

【得点】1 分大嶋、6 分足立、7 分大嶋、17 分大嶋、19 分足立、22 分大嶋、23 分森田、28 分中尾、35 分南里、36 分湯ノ谷、38 分大嶋、41 分大嶋、43 分大嶋、45 分大嶋、50 分森田、56 分大嶋、61 分森田、64 分森田、65 分森田、70 分森田

◇準決勝(11月19日、滋賀県野洲川運動公園ビッグレイク) 35分ハーフ

大阪桐蔭 1-1(1-0)PK3-5 日ノ本学園高校

【得失点】32 分樋口、70 分+2 分失点

前半はピンチを迎えたものの GK 川崎の好セーブにより無失点で抑え、小川のドリブル突破から中尾がシュートしたこぼれ球を樋口が押し込み、先制点を決めた。だが、後半に追いつかれて PK 戦の末敗退した。

◇3 位決定戦(11月20日、京都宇治太陽が丘) 40分ハーフ

大阪桐蔭 4-0(2-0) 神戸弘陵

【得点】25 分大嶋、27 分小川、46 分大嶋、66 分南里

前日の日ノ本戦のくやしさをもって挑んだ神戸弘陵戦。前半の立ち上がりはすぐ攻め込まれるというシーンがあり、危ないところが多かったが何とか防ぎ、前半 25 分に大嶋が先制点を決め、そこから自分たちのサッカーを取り戻していった。

吉野キャンプ

11 月 1 日から 2 泊 3 日で全学年そろ

っての吉野キャンプが開催された。このキャンプは全国制覇に向け、「自分」が「チーム」に対して何ができるかを考える狙いとして行われた。食事も自分たちで作り、宿泊は外にテントを設営し、自然に囲まれ自力で生活する環境の中、全学年混合の 5 グループに分かれて活動し、様々なプログラムを通してチーム力を互いに高めあった。

また、この 3 日間で 39 人それぞれが全員の前に立ち、全国制覇に向けて「自分がチームに貢献できること」をテーマとしたプレゼンテーションを行った。そこでそれぞれが自分のコミュニケーション能力がどの程度であるのかを理解し、「伝える」ことの大事さを学んだ。3 日目には 39 人全員で世界遺産に登録されている蔵王堂に早朝から山道を約 1 時間半歩き、必勝祈願の参拝を行った。12 月 30 日から開催される全日本女子選手権大会に向け、それぞれが熱い願いを込めて特別必勝祈願の護摩炊きを体験した。

体育祭

10 月 13 日に高校生の、14 日に中学生の体育祭がラクタブドーム(なみはやドーム)で行われた。各学年で競い合い見ごたえのある勝負が見られ、高校の体育祭では熱い接戦の末に 2 年生が優勝した。種目の中にはクラブ対抗リ

レーがあり、女子サッカー部は陸上部、バスケット部に次いで 3 位で終えた。

14 日の中学生の体育祭では競技者招集やアナウンス、器具の出し入れなどでサポートをした。

普段の部活動とは違った体験で、いつも自分たちがやってもらっているような裏方の仕事を行い、そこでスムーズな進行をするために、今何が必要であるかを常に考えなければならなかったり、臨機応変に対応したりしないといけない。この 2 日間を通して、表に出ずにたくさんのことを手伝うということが、すごく大変で頭を使うのということがわかり、「仕事をする」ということを学んだ。

未来のなでしこ大集合

体育祭翌日の 10 月 15 日、大東市歴史とスポーツふれあいセンター四条グラウンドで未来のなでしこサッカー教室が行われた。小学校 1 年生～6 年生まで幅広い年代が参加し、女子サッカー部はそれぞれの学年に分かれてメニューの進行の手伝いなどをした。子供たちに「サッカーを楽しんでもらう」という目的を達成し、小さい子供たちと触れ合ったりして、普段自分たちがプレーすることとは違った「教える」という立場は、貴重な体験だった。

対戦相手決まる

11 月 27 日に東京都内の JFA ハウスで 12 月 30 日から開催される第 25 回全日本女子サッカー選手権大会の抽選会が行われた。監督とキャプテンの芝が抽選会に参加し対戦相手は関東第 1 代表の湘南学院(神奈川県)に決まった。湘南学院は、夏の遠征で戦った時には大阪桐蔭が敗戦している。1 回戦から手ごわい相手ではあるがキャプテン芝は「全国制覇にふさわしいこのチームで目標を達成したい」と強く意気込みを語った。前回大会は初戦で敗退。今年は桐蔭ファミリー全員でこれまでの最高成績である第 20 回大会準優勝をも上回る成績で 3 年生の高校サッカー最後の年を飾りたい。